

# 心に残る文化財子供塾 活動の概要と様子 ～ 奥出雲町立八川小学校 ～

## 1. 概要

6月7日(水)、奥出雲町立八川小学校で『心に残る文化財子供塾』を開催しました。今回は体験活動で「町内の古墳見学」を行いました。はじめに町内の古墳についてまとめたワークシートを見て、県埋蔵文化財調査センターの職員から話を聞きました。町内に多くの古墳があることを知り、驚くとともに関心を寄せていました。

続いてバスに乗り込み、まず学校近くにある古屋上古墳の見学を行いました。山の中の斜面に造られた古墳の横穴式石室に入り、自分たちで石室の大きさを実際に測るなどして、古墳がどうやって造られたのか考えました。

次に、バスで 20 分ほど移動し、町内で一番大きな古墳である岩屋古墳を見学しました。石室の中に入って、当時の奥出雲町域を治めた有力者がいたことに想いを巡らせました。また、どの石材が一番大きいか観察し、それをどうやって運んだのかを考えました。学校に帰った後、教室でワークシートの答え合わせをして、奥出雲町の古墳について理解を深めました。

## 2. 様子

### 1) 奥出雲町の古墳について知る



「奥出雲町には古墳がいくつあるかな？」

### 2) 古屋上古墳の見学



「古墳見学に出発！」



「石室に入ってみよう！中には何があるかな？」

### 3) 岩屋古墳の見学



「岩屋古墳の石室は大きい！」



「最後はみんなで記念写真を撮りました」

## 3. 子ども塾を終えて

### 1) 児童の皆さんから…

- ・岩屋古墳が大きくて、門もあってびっくりした
- ・石をどうやって運んだのか知りたい。
- ・古墳にはいろいろな大きさや形があることがわかった。
- ・町内の他の古墳や、前期・中期の古墳にも行ってみたい。
- ・古墳はどんな人が造っているのか知りたい。
- ・古墳は昔の人をまつている大事なものだと思った。

### 2) 担任の先生から…

- ・岩屋古墳は迫力があり、昔の様子を感じることができ感銘を受けた。
- ・ふるさとの宝として、たたら製鉄や米以外にも、こういった文化遺産があることがわかった。

### 3) 埋文センターから

子ども達にとって古墳見学は初めてで、みなさん興味を持って話を聞いてくれました。奥出雲町内や学校周辺には古墳がたくさんあることを理解でき、地元の文化財・歴史にも関心が湧いた様子でした。

古墳見学では、地元の古墳を訪れ、横穴式石室の中にも入りました。最初は怖がる児童もいましたが、石室が当時のまま残る様子を見て、どこから大きな石を運んだのかなど疑問がたくさん生じたようです。他の古墳にも行ってみたいといった声もあり、機械の無い時代にどうやって古墳を造ったのか、みんなで想いを巡らせました。